

町議会議員 6期23年 開かれた議会の実現に貢献

## 河岸悟郎さん(美国町)が旭日双光章を受章

平成23年秋の叙勲で、地方自治功労者として河岸悟郎さん(美国町・72歳)が旭日双光章を受章され、11月4日、札幌市内のホテルにおいて知事から叙勲・勲記が伝達され、10日には、皇居「春秋の間」において皇太子殿下の叙勲拝謁を受けられました。

かれ、子ども議会の開催や議会だよりの発刊など、開かれた議会の実現に指導力を発揮されました。また、農業委員、商工会理事など数多くの公職を通じて、町民の融和と地域の振興にも貢献されました。

河岸さんは、昭和57年に積丹町議会議員に初当選、平成17年までの6期23年間にわたり、本町の地方自治の発展と基幹産業の振興、教育福祉の向上などに尽力されました。

また、平成9年より平成17年までの8年間、議長の要職に就

松井町長は、「長年のご労苦に深く敬意を表します。今後とも郷土の限りない平和と振興発展に変わらぬご指導とお力添えを。」と祝意を述べられました。河岸さんは、「栄誉ある受章に感謝しています。今後も一町民として、町の発展、地域振興に少しでもお役に立てれば幸いです。また、余市高校の同期生による祝賀会も開催していただき、とても光栄に思いません。」と話されました。



町の誇りの受章を心から祝し、今後ますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

## 第41回 積丹町文化祭

積丹町文化祭実行委員会(成田チセ委員長)主催による平成23年度文化祭が総合文化センターを会場に開催されました。

11月1日から3日まで行われた「作品展示会」には、保育所園児や小中学生、一般の方々まで、町民の皆さんから寄せられた書道や写真、俳句、陶芸、手芸など628点の多彩な作品が展示されたほか、期間中、ニシン伝習館ヤマシメ番屋の開放も行われました。

また、3日には美国婦人会と保育所父母によるバザー、茶道銀杏の会のお茶会なども催され、延べ520人の方々会場を訪れました。

12日には、同センターにおいて「芸能発表会」も行われ、各地区の女性団体や幌武意太鼓、鯨場音頭保存会など10団体が参加され、踊りやカラオケ、詩吟など日頃の練習の成果を披露しました。演目が終わるたびに、観客から大きな拍手が送られていました。



# 積丹観光フォトコンテスト

## グランプリ

寺井貴隆さん (札幌市在住)「紅」



積丹フォトコンテスト(積丹観光協会主催)の審査が11月7日に行われ、応募総数294点の中から札幌市在住の寺井貴隆さんの『紅』がグランプリの積丹観光協会賞に、準グランプリには次の3点が選ばれました。

なお、入賞作品については、同協会のホームページで紹介しています。

### 準グランプリ

- 「冬の浜辺」紅露雅之さん(小樽市)
- 「落日」柴田紀子さん(小樽市)
- 「波の動き」鹿戸芳之さん(小樽市)

# 初めての定期演奏会を開催

～ 美国中学校 吹奏楽部 ～

11月5日、美国中学校吹奏楽部(杉野桂梨部長・部員17人)の初めてとなる定期演奏会が総合文化センターで開催されました。

この演奏会は、日頃から同部の活動を応援くださっている地域の皆さんや、保護者の方々に練習の成果を披露し、楽しんでいただこうと、部員みんなで企画し、実現したものです。



杉野桂梨部長は、「日頃から吹奏楽部を応援してくださりありがとうございます。数々のパフォーマンスを用意しましたので、一緒に楽しみましょう。」と挨拶。第1部は、「双頭の鷲の旗の下に」バラの謝肉祭」などクラシック5曲を演奏しました。衣装を制服からポップ系の洋服や着ぐるみなどに着替え、明るい雰囲気登場した第2部では、アニメ「タッチ」の主題歌や「AKBメドレー」など8曲を披露し、訪れた約200人の聴衆を魅了していました。また、演奏の合間には、寸劇を交えた曲の紹介で会場を沸かせたり、この演奏会を最後に引退する3年生を送るメッセージと花束が手渡される場面があるなど、心温まるすてきな演奏会となりました。



劇を交えた曲の紹介で会場を沸かせたり、この演奏会を最後に引退する3年生を送るメッセージと花束が手渡される場面があるなど、心温まるすてきな演奏会となりました。



全国からシェフを公募し、地域の新鮮な特産食材を使用した新たな料理を創作する、美国フードフェスティバル2011が10月22日、総合文化センターを会場に開催されました。ウニなどの魚介類を提供する夏の時期に比べ、観光客が半減する秋の時期に新しい料理を提供することで、観光振興に役立つようと美国旅館組合(成田静宏組合長)が町のまちづくり活動支援補助金の助成を受けて行われたもので、成田組合長は、「積丹らしい極上の一皿が、組合会員の励みと積丹町の旅館業に新たな活

## 「積丹の食材」シェフの技で料理に!



気をもたらししてくれる契機としましょう。」と挨拶されました。

今回のイベントには、全国から32人のシェフが応募。一次審査を勝ち抜いた6人のシェフがメイン料理とデザート

の2品で腕を競いました。料理に使用した食材やポイントについてシェフから説明を受け、同組合会員や町内の30人の関係者が審査し、グランプリには、札幌市内ホテルの中国料理シェフ石原健太郎さんが創作したキノコのソースとアワビソテーを添えた甘エビチャーハンと、アーモンドクッキーにりんごを使用したデザートが選ばれました。